

2025 年度第 41 回電気通信普及財団賞
(テレコム人文学・社会科学賞、テレコムシステム技術賞、テレコム学際研究賞)

対象書籍・研究論文等募集要項

1. 電気通信普及財団賞の趣旨

情報通信の普及、振興、発展に貢献する優れた情報通信に関する書籍・研究論文等を、テレコム人文学・社会科学賞、テレコムシステム技術賞およびテレコム学際研究賞として表彰し、その功績を顕彰します。

2. 電気通信普及財団賞表彰応募の対象

(学生賞については別途応募要項がありますので、そちらをご覧ください¹。)

(1) 表彰部門および対象となる研究論文・書籍等

① テレコム人文学・社会科学賞

情報社会の変容・進展や情報通信技術が人間や社会に与える影響等、情報通信と法律、経済、社会、文化との関係等について人文学・社会科学的な観点から研究したもので、原則 2024 年 1 月 1 日以降に出版された書籍・学術誌に掲載、または国際会議等で発表された研究論文（以下、書籍・研究論文と略）を対象とします。

② テレコムシステム技術賞

情報社会の進展に貢献する情報通信技術の開発、応用等について技術的、工学的観点から研究したものであり、原則 2022 年 1 月 1 日以降に学術誌に掲載または国際会議等で発表された研究論文、および標準化機関で採択された国際標準のもととなった研究論文または寄与文書を対象とします。

③ テレコム学際研究賞

上記①テレコム人文学・社会科学賞または②テレコムシステム技術賞のいずれにも直接的に該当しない情報通信に関する研究を行ったもので、原則 2022 年 1 月 1 日以降に出版された書籍・研究論文、および標準化機関で採択された国際標準のもととなった研究論文、寄与文書を対象とします。さらに、原則 2022 年 1 月 1 日以降に公開されたサービス、起業、特許等の社会実装の実績を詳細に理解できる国内・国際会議、学会誌、報道発表資料および関連記事も対象とします。

※ テレコム学際研究賞は、人文学・社会科学と技術の両分野にまたがる、または両分野のいずれかに応募しづらい中間領域のテーマ等、多様性を許容する表彰部門です。(別添「電気通信普及財団賞 テレコム学際研究とは」を参照してください)。

¹ 学生賞応募要項 URL。 <https://www.taf.or.jp/award>

(2) 応募の対象者

書籍・研究論文等の著者（著者および共著者）
若手研究者の研究活動に着目するようにしています。

(3) 表彰金および件数

テレコム人文学・社会科学賞、テレコムシステム技術およびテレコム学際研究賞のそれぞれについて、

- ① 入賞 5 件以内（賞金各 100 万円）
- ② 奨励賞数件程度（賞金各 50 万円）
- ③ きわめて優れた書籍・研究論文等に対する特別賞（1 件につき 200 万円）を授与します。

* なお、テレコム学際研究賞においては、審査委員会からの特例表彰が行われることもあります。

3. 募集期間

2025 年 6 月 1 日～2025 年 8 月 31 日午後 5 時まで（郵送物は消印有効）

※締切後すぐ審査が開始されますので、ゆとりを持って応募専用フォームからのエントリーを済ませて、応募書類一式をご郵送ください。

4. 応募方法

電気通信普及財団賞に書籍・研究論文等を応募される方は、事前エントリーして、受付番号を取得したうえで、必要書類を以下の要領で電気通信普及財団賞事務局あてに提出してください。

(1) 必要書類

① 応募用紙（PDF の改変不可）（注）

- ・ テレコム人文学・社会科学賞
- ・ テレコムシステム技術賞
- ・ テレコム学際研究賞

（注）該当する応募用紙に必要事項をご記入の上、PDF 版の応募用紙を専用ページ（<https://www.icr.co.jp/taf/entry.html>）から事前エントリーし、受付番号を取得してください。

「人文学・社会科学」、「システム技術」両部門については、学際研究的要素の有無とその内容をご記入頂く必要があります。

② 応募作品（論文、書籍等）2 部

③ 本文要旨（800 字以内、様式任意）

④ 研究論文等に関するプレゼンテーション資料（パワーポイント 1 枚横）

※人文学・社会科学部門では応募作品が書籍の場合は不要。

⑤ 推薦書（任意、著者以外からの推薦）

※ 推薦者の了解を得ている場合は、押印省略可とします。その場合、財団事務局より推薦者に連絡の上、推薦意思を確認します。

※ なお、推薦書では、当該論文の情報通信分野との関連性、情報通信分野へのインパクトについて記載してください。

- ⑥ 応募者の既発表論文リスト（任意）
- ⑦ 採録通知（出版予定の書籍、掲載予定の論文については、本財団賞締切日までに出版されているものを対象とします。）

(2) 提出方法

- ・ 事前エントリー後、下記あてに郵送してください。（宅配便は不可）

【郵送先】〒103-0013

東京都中央区中央人形町二郵便局留

電気通信普及財団賞事務局 受付番号××-×××（注）

（注）上記(1)①で取得した受付番号を記載してください。

※ テレコムシステム技術賞およびテレコム学際研究賞に応募される方は、必要書類を郵送するほか、当財団の電子申請システム（<https://taf.yoshida-p.net>）にアクセスの上、マイページを取得し、応募書類のPDF ファイルを提出してください。

5. 選考結果

2026 年 3 月に受賞者の方に通知し、当財団のホームページ等に掲載します。受賞分野については、審査員の判断により変更することがあります（受賞分野変更のうえ受賞された場合の応諾については、ご本人に確認します）。

6. その他

- ① 受賞者には、当財団のホームページ等への掲載のための情報提供や、当財団主催のイベント等における受賞書籍・研究論文に関するプレゼンテーション等のご協力をいただきます。
- ② 応募に関し記載された個人情報については、法令および当財団の内部規程に従い、適切に取り扱います。
- ③ 受賞者の氏名、書籍・研究論文等の名称、賞金額について一般に公開します。また、これらの受賞に関する情報を公益財団法人助成団体センターに提供します。
- ④ 応募書類および書籍・研究論文等は返却しません。
- ⑤ 応募に際しては、応募時および書籍・研究論文投稿時の著作者の所属、役職、学年を応募申込書の所定欄に記載していただきます。

【お問い合わせ】

電気通信普及財団賞事務局（土日祝は休業となります）

電話：03-3663-8024（受付時間：平日 10:00～17:00）

お問い合わせフォーム：<https://www.taf.or.jp/contact/>

※ 電気通信普及財団賞の事務局運営に係わる業務は、株式会社情報通信総合研究所に委託しております。

（参考）2025 年度第 41 回電気通信普及財団賞

<https://www.taf.or.jp/award/2025-41th-application.html>

（別添）電気通信普及財団賞 テレコム学際研究とは

テレコム学際研究賞およびテレコム学際研究学生賞は、2021 年度に創設された新しい賞です。この賞は、人文学・社会科学と技術の両分野にまたがる、または両分野に応募しづらい中間領域のテーマ等、多様性を許容する表彰部門です。具体的には、下記の研究テーマ例のような応募を期待します。

- ・ 社会的な課題を情報通信技術の視点から解決しようとする研究
- ・ 情報通信技術に立脚し、社会的価値創造（学術的な貢献に加え、経済的、社会生活の利便性、産業、政策等）を行う研究
- ・ 情報通信技術の社会実装とともにそれによって発生する、新たな社会的課題、政策課題等に関する研究
- ・ 社会のあり方を大きく変革・転換させることを先導するような情報通信に関する研究
- ・ 人文学・社会科学・自然科学という既成の枠を超えるような情報通信に関する研究

※なお、複数の学問分野の関係する論文が、並列的に並べられているものではなく、互いに有機的に関連していることが必要です。

これまでさまざまな分野の研究者が応募されており、下記に列举するように応募作品のキーワードは多彩です。

これまでの応募作品におけるキーワード例（順不同）

認知神経科学、生成 AI、インタラクションデザイン、医療、健康、介護、遠隔教育、個人情報保護（プライバシー保護）、データ収集、倫理的・法的・社会的課題、行動認識、行動変容、身体性、臨床、医工連携、エンターテインメント、デザインインタフェース、Remote communication、Emotional expression、Cultural Policies、Human Security、Social VR、E-commerce、Well-being、SDGs、ダークウェブ、労働法、就労者保護、文章解釈、認知科学、COVID-19、報道分析、株価、顧客満足度、サイバーセキュリティ、フェイクメディア、行為主体感、音楽発掘、ウェブサービス、小論文自動採点、オンラインマッチング、トンネル掘削、運動学習、神経科学、対人接触、在宅勤務、メンタルヘルス、ソーシャルディスタンス、アバター、メタバース。

2021 年度から 2024 年度のテレコム学際研究賞とテレコム学際研究学生賞を受賞した作品に対する審査員からのコメントに関しては、電気通信普及財団のホームページ <https://www.taf.or.jp/award/> をご参照ください。テレコム学際研究の多様性がご理解いただけたと思います。